

ながの環境パートナーシップ会議

令和2年度通常総会 会議記録

日時 令和2年8月6日(木) 午後6時から7時10分まで

場所 長野市ふれあい福祉センター 5階 大ホール

出席者 出席者数106(出席者16+委任状90 会員数181)

※当初の6月開催は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期。密にならないよう短時間で実施するため、委任状の提出等の御協力をいただいた。出席者にも消毒やマスク着用をお願いし感染拡大防止に努めて開催した。

1 開 会 事務局長 長谷部環境保全温暖化対策課長

定刻につき会員数、出席者数及び委任状の提出数が総会開催定足数を満たしているため、ながの環境パートナーシップ会議会則第25条の規定に基づき、総会は成立し開会する。

2 あいさつ 金井代表理事

長野県もコロナウイルスの感染者が増えているので、本総会もソーシャルディスタンスに気を付けながら開催をさせていただく。昨年度の行事や各チームの活動は台風19号の被害により制限されてしまった。今年に入ってコロナウイルス禍で活動がなかなか進まない。今後も制限が出てくるが、その中で精一杯知恵を出し合いながら工夫して活動を続けたい。皆様から建設的な御意見をいただきたい。

3 議長選出 赤羽副代表理事

4 議事と主な意見・質疑等

- | | |
|--------------------|------------|
| (1)令和元年度活動報告について | (事務局から報告) |
| (2)令和元年度収支決算報告について | (事務局から報告) |
| 令和元年度監査報告について | (小林監事から報告) |

[主な意見など]

会 員⇒ 会費の未納者が多数いることに対してどう考えるか。

代表理事⇒ 事務局より未払いの方へ年2、3回の督促をさせていただいている。2年間という期限はあるが、過去の例として2年分納めてくれた人もいるので会員維持を大切に考えるとできるだけ支払っていただけるようお願いをしているところ。順次、事務局を通して支払いをしていただけるようお願いしていく。

会 員⇒ 独自の収入を持つプロジェクトは会に報告すべきではないか。

代表理事⇒ 何とか収入を増やししながら自分たちの活動を盛り上げていきたいという思いがあり、色々なところからの支援をお願いしているところ。また、企業や県からの支援については支援いただいているところへ領収書等を報告している。参加費をとる場合もP会議全体の活動費と二重にならないように注意していただいている。各チームで支援を受けた分については差し引きさせていただいているのでP会議全体の活動費の負担が少なく済んでいる。

会 員⇒ 活動費の支出がゼロのプロジェクトがあるので、P会議から外すべきではないか。

代表理事⇒ 2グループについて諸事情があり休会中である。できるだけ多くの参加を求めていく上では、何とかチームとしての活動ができるように継続できる方法を探しているところ。

会 員⇒ 特定の地域だけを対象にしたプロジェクトは、P会議の目的に沿わないのではないか。住民団体や市開発公社が主体となっているプロジェクトがあるが、P会議から離れて独自に活動すればよいのではないか。

代表理事⇒ 会則第3条の目的において、「長野市域における環境を保全するためのネットワークを築くこと」が挙げられており、第34条のプロジェクトにおいて、「プロジェクトチームは希望する会員をもって構成する」、「プロジェクトチームは、会議、ワークショップ、講演会、研修会の開催、事業化に向けた調査研究等の具体的な活動を実施する」とうたっている。P会議としては、事業者・市民・行政・団体がフリーに参加できるということで、できるだけ多くの人に多くのチームに参加していただきたいというのが趣旨である。現在のプロジェクトはこの趣旨に沿った活動だと認識している。

会 員⇒ プロジェクトの数はいくつか。ライトダウンながの実行委員会、NPOみどりの市民はプロジェクトか。

事務局⇒ 令和元年度のプロジェクトの数は12とスペシャルプロジェクトが1つ。「ライトダウンながの」はP会議が実行委員会に参加している。また、NPOみどりの市民はP会議の会員となっている団体の一つ。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

(3) 令和2年度運営方針(案)について (金井代表理事から説明)

(4) 令和2年度活動目標・活動計画(案)について (事務局から説明)

(5) 令和2年度収支予算(案)について (事務局から説明)

(6) 会則の一部改定について (事務局から説明)

[主な意見など]

会 員⇒ 通常総会は質問を事前にしてもらい、委任状を提出する等の工夫をして、これからも実施してほしい。会則を改定すること自体は構わない。

挙手により採決 → 賛成多数で承認

(7) 役員(理事)の選任について

挙手により採決 → 賛成多数で承認

【新理事】(立候補順)

赤羽和春、佐藤敏夫、倉又保雄、河西弘明、有金市隆、金井三平、宮尾正彦(長野市環境部長)

別室により理事会を開催 → 互選の結果、次のとおり決定した

代表理事: 金井三平 副代表理事: 赤羽和春、河西弘明

(8) その他

[主な意見など]

会 員⇒ 動力機械の安全使用について提言。私の所属するプロジェクトでは一昨年、死亡という大変大きな事故があった。また、他のチームにおいても、あわやという事故が起きたと報告があった。その他のチームについても刈払い機や農業用機械等の動力機械を使うことが増えていく中で機械の安全講習の受講、使用マニュアルの作成を各チームで整え、二度と我々のような事故のないようにしてほしい。

5 閉 会 事務局長 長谷部環境保全温暖化対策課長
閉会を宣言し、散会した。